

漫湖水鳥・湿地センター

たよい

2005年11月10日発行

No.28



お帰り?いらっしゃい?クロツラヘラサギ



「クロツラ君、そろそろかな?」とセンター職員も
ていたところ、9月29日の新聞(沖縄タイ
に登場しました。新聞によると、クロツラヘラ
サギは28日午後に豊見城市豊崎の川岸で確認され、
地元住民によって2,3日前から確認されていたとの
ことです。

夏の間、子育てをするために朝鮮半島へ行っていた
クロツラヘラサギですが、冬を過ごすために沖縄へ帰
ってきたのです。

「早くクロツラ君に会いたい。」ということで、見
に行ってきました。まず、クロツラヘラサギがよくい
る豊見城市三角池へ向かいました。「あつた!!」ク
チバシを水につけ、首を振り回し、エサを探していま
す。双眼鏡でよく見てみると、足に番号が書かれたリ
ングがついています。その番号から、夏の間中沖縄に残っていたクロツラヘラサギだと判明。次は豊崎へ移動
し、ドキドキしながら双眼鏡をのぞきました。

いました!!2羽のクロツラヘラサギが、やっぱりエサを探しています。これは、おそらく朝鮮半島から渡っ
てきたものです。足には、リングがついていません。

実は、今年3月、朝鮮半島に戻る前のクロツラヘラサギにカラー足輪を装着しました。これは、渡りの経路
や生息環境を調べるために環境省が行ったものです。今回、目撃されたクロツラヘラサギはそのリングがついて
いないので、去年も沖縄へやってきていたものかは分かりません。去年も来ていたけどリングをつけなかった
ものなのか、去年は他のところで冬を過ごし今年初めて沖縄にやってきたものなのか、それとも、今年朝鮮半
島で生まれたものなのか...これは、分かりませんがこのクロツラヘラサギたちがどんな経路をたどって沖縄に
やってきたのか想像すると楽しいですね。

これから、どんどんクロツラヘラサギが渡ってくると思います。去年、リングを付けられたものはいつ来て
くれるかな?漫湖には、いつ来てくれるかな?待ち遠しいです。



11月3日:小禄健人くん撮影

三角池(豊見城市)に3羽集まったクロツラヘラサギ

行事のお知らせ

講演会

ゲッチョ先生の 骨っておもしろい!!

日時：12月2日（金）
18時～20時（入場開始 17時半から）

場所：漫湖水鳥・湿地センター

定員：150名・要予約（先着順）

講師：盛口 満 先生（ゲッチョ先生）

お願い

駐車場があまり広くありませんので、公共交通機関でお越し下さい。（モノレール奥武山公園駅より徒歩 15分）

また、お車の場合は、乗り合わせてお越し下さい。

お申し込み・お問い合わせ

漫湖水鳥・湿地センター 098(840)5121



入場無料 要予約

漫湖水鳥・湿地センター 絵画・作文コンクール表彰式

日時：12月2日（金） 15時半～16時

場所：漫湖水鳥・湿地センター

ゲッチョ先生の講演会の前に行います。

新しいスタッフの紹介

たましろ ひさし
玉城 寿史 さん



はいさい！10月から当センタースタッフに加わることになりました、玉城寿史です。

漫湖水鳥・湿地センターには漫湖の野鳥を見に、近所の子どもたちをはじめ、本土からの観光客、海外からもたくさんの人たちがやってきます。みなさん楽しそうにセンターを利用しています。漫湖の自然に触れる中で、多くの発見や驚きがあります。

私もセンターに来館なさる方々といっしょに漫湖の自然についていろいろ考え、学んでいけたらと思っています。センターでいろいろな発見を楽しみましょう！

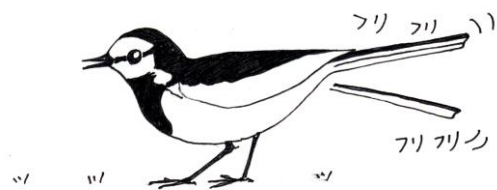
漫湖水鳥かわら版 28

～サギが多い 10月～

10月	羽数	先月との比較
ゴイサギ	10	↑
ダイサギ	20	↑
チュウサギ	7	↑
コサギ	28	↑
アオサギ	26	↑
ミサゴ	2	↑
バン	2	↓
シロチドリ	4	↑
ムナグロ	36	↑
ダイゼン	4	→
トウネン	27	↑
ハマシギ	6	↑
アカアシシギ	31	↑
コアオアシシギ	1	↑
アオアシシギ	12	↑
キアシシギ	7	↓
イソシギ	20	↑
ソリハシシギ	3	↑
オオソリハシシギ	1	↑
ダイシャクシギ	6	↑
チュウシャクシギ	5	↓
カワセミ	1	↑
ハクセキレイ	2	↑
合計	261	↑

10月16日

センター前には広い芝生の広場があります。少し涼しくなってきたので、窓を開け外の風を入れていると、芝生のほうから「チチッ チチッ」と懐かしい声がかかります。芝生の広場で尾をフリフリするハクセキレイです。夏場はいなくなってしまうハクセキレイ、涼しい風とともに戻ってきてくれました。これから冬の間、ハクセキレイのお尻フリフリショーが楽しませてくれそうです。



10月26日

大型カメラで干潟を見ていました。マングローブの間をウロウロする鳥がいます。太陽の位置が悪く、影になってあまり色が分かりません。でも、歩いてお尻フリフリ・歩いてお尻フリフリ…その正体はイソシギです。その動きは、広い干潟の中でも目立ちます。

ハクセキレイは芝生のお尻振り、イソシギは干潟のお尻振り!! 鳥の動きに注目するのも楽しいです。

最近の マングローブ広場

マングローブ広場の前には、メヒルギの木があります。6月に白い花を咲かせていたメヒルギに種がなりました。といっても、種ができるだけでなく、種から芽がでてきています。マングローブの種は、「胎生種子」といって、種から芽を出した苗の状態です。今は、その芽が出始めたところ。とても、かわいいマングローブの赤ちゃんです。



ラムサール条約 締約国会議 in ウガンダ (アフリカ)

11月8日にアフリカのウガンダで国際的に重要な湿地を保全するラムサール条約の締約国会議が開かれました。沖縄からは、慶良間諸島海域と名蔵アンパル(石垣市)が新たに登録されました。国内では、新たに20カ所が登録され、国内の登録湿地は33ヶ所になりました。

締約国会議に合わせて現地で行われた「子どもラムサール」に日本代表の一人として高良海舟くん(興南中1年生)が参加しました。高良

君は、小学生の時から漫湖でのゴミ拾いなどを通して、漫湖の自然を考えてきました。今回、世界に向けて登録湿地である漫湖を紹介してくれました。

漫湖を世界に誇るにふさわしい干潟にしていきたいですね。

慶良間諸島海域・名蔵アンパル 登録!!

10月 地域

保育園・幼稚園	
第2エミール保育園	那覇市
小学校	
翔南小学校4年生	南風原町
古蔵小学校2年生	那覇市
長嶺小学校3年生	豊見城市
玉城小学校5年生	玉城村
中学校	
東大付属中学校	東京都
佐敷中学校	豊見城市
鏡原中学校1年生	那覇市
大宜味中学校	大宜味村
高等学校	
豊見城高校	豊見城市
NPO 団体	
国際マングローブ協会	外国
JICA	外国
医療・福祉関係	
ありあけの里	浦添市
その他	
九州公平委員会	県外
ボーイスカウト	那覇市
その他	

ようこそ! 漫湖水鳥・湿地センターへ



総入館者数

52,591人

入館者数
10月 1,479名
(うち団体 798)



市町村別入館者数(人)

	市町村	人数
1	那覇市	651
2	豊見城市	254
3	県外	198
4	南風原町	92

編集後記

心音のやさしいスタッフ、玉城寿史さんを
むかえて、センターが又一段と明るくなり、
干潟では水鳥たちが羽を休めている今日こ
の頃です。



広川 ヨシ子

〈 漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会(環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市) 〉

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840-5121 FAX(098)840-5118

開館時間 9:00 ~ 17:00 休館日: 月曜日(月曜日が祝日の場合・翌日)、年末年始(12/29 ~ 1/3)

E-mail: manko_mizudori@ybb.ne.jp

HP: http://www.geocities.jp/manko_mizudori/